千雪とはだかのパイズリ休日
DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の購入・閲覧禁止

股間にやわらかい感触を感じて目が覚めた。
「あ…起こしちゃいました？」
シーツにもぐりこんでいた千雪が、
そのたわわなおっぱいで
俺のモノをはさんでくれていた。
「あの…千雪さんそれは…？」
「ふふ❤おはようのちゅーならぬ…
おはようのパイズリです❤」
むにゅ…♡

「朝からすっごく硬くなってたから…
可愛くてつい❤」
ついって…男の生理的にそういうもんなんだけど…
まあ気持ちいいから…いいか
「すごいね…昨日あんなにしたのに…」
昨夜の情事を思い出し、ペニスがぴくんと脈打つ。
「あ…❤ふふ❤お世話してあげるね…」
千雪は乳房を肉棒にこすりつけはじめた。
たぷ
たぷ
むにゅ
むにゅ

「気持ちいいよ…」
まどろみの中、やわらかな乳房で肉棒をなぜられる。
朝勃ちした鋭敏なちんぽで千雪のおっぱいを味わう。
むっちりとやわらかい。
「あったかいね…❤」
布団の中は二人の体温で汗ばむほどで、
汗と愛液で性的な匂いが充満した。
布団にくるまり、千雪に密着され…
この上なく気持ちがいい。
「あっ…！」
やばい。熱いものがのぼってきた。
「千雪…待って…っ」
「いいよ…このまま出して❤」
「全部受け止めるから…❤」
ぴくっ
ぴくっ
たぷ
マッチ
にゃちっ
にゃちっ
たぷ
あ
はあ、
はあ、
はあ、
う

射精を許された俺は千雪の胸の中で射精する。
起き抜けのまどろみの中、千雪の乳房につつまれ
精を放出する。気持ちがいい。「出てる…❤」
千雪が俺の目を覗き込んでくる。
「あったかい…❤」
射精している間もむっちりとしたおっぱいで肉棒を
しっかりはさんでくれていた。
乳房の中の陰茎は快感の射精を続ける。
「あっ…ああ…っ！」
「すごいね…❤」
乳房
ふーふー
ふーふー
ふーふー

「たくさん出たね…❤」
俺は千雪のおっぱいの中で果てた。
谷間が俺の白い精液で汚れていた。
白濁したそれは熱く泡立ち、
布団の中に濃い匂いを充満させていた。
「気持ちよかったですか？」
「うん…」
天にも登るような心地だ…。
「今日はいっぱいお世話してあげますね…❤」
今日は楽しい一日になりそうだ。
ぐとぐと
ぐとぐと
ひくひく
ひくひく
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ

「ごめん千雪…お願いできるかな…」
裸エプロンに欲情した俺のチンポを、
千雪は優しくおっぱいではさんでくれた。
「お料理中にいつも甘えたくなるなんて…
小さなこどもみたいですね❤」
そう言われて、少し恥ずかしくもあり、嬉しくもある。
「いいですよ…お世話してあげますね❤」
Gチッ♡

「おっぱい気持ちいい？」
「うん…うん…気持ちいいよ…」
卑猥な音がキッチンに響く。
やわからな乳房に肉棒をしごかれる。
「いつでもどうぞ…❤」
大きな乳房がふとももの付け根にまで押し付けられ、
快感がこみ上げる。やわらかくて温かくて
「いいよ…❤」
ちんぽに密着したおっぱいはむっちりとして、
すいつくようにいい感触で…
「出して…❤」
ちんぽをしごくスピードが上がる。
「千雪っ…出すよ…！」
ヌチュッ
ヌチュ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
ずり
ずり
ずり
ずり
ずり
ずり
あ
ニコ
すっちゅ
すっちゅ

「千雪っ……！ああっ……！」
俺は千雪のおっぱいの中で激しく射精した。
「あっ…❤すごい…❤」
勢いよく飛び出た精液が千雪の顔にかかる。
「あっ…ごめんっ……！」
「いいの…❤」
千雪のきれいな顔が俺の精液で汚れていく。
「たくさん出して…❤
いっぱい出していいからね…❤」
ぶたっ
ビュッ
ビュッ
ビュッ
ビュッ
ビュッ

「ふふ❤気持ちよかった…？」
「うん…すごく…」
千雪は胸も顔も俺の精液でべとべとになっていた。
「びくびくおさまるまでこうしてあげるね❤」
射精後の快感の余韻が残るまま、
敏感になったちんぽを優しく包みこんでくれた。
ちんぽが幸せで蕩けそうだ。
「勃起おさまらないね…❤どうしちゃったのかな…❤」
「もう一回してもらえばおさまるかも…」
「ふふ❤甘えん坊さんだね❤」
もっと千雪に甘やかしてもらおう…。
ふー！ふー！ふー！
べとべと
ビュクッ！
ビュクッ！

「んっ…」
泡だてた谷間に、ビンビンに勃起した
チンポをつっこむ。
「お加減いかがですか？」
さっきまでお風呂に入ってた千雪の谷間は
濡れていてあたたかい。
泡がぬるぬるとからみつき気持ちがよい。
「お風呂入るより気持ちいいよ…」
「もう…えっち❤」
モコ
モコ
ほか
ほか
ぬ
ち、♡

「洗ってあげますね…」
浴室に卑猥な音が響く。
泡々の谷間はすべすべだ。
「気持ちいいよ…」
鏡に映ってる大きなお尻を
こっそり盗み見て興奮した。
「あれ…?また硬くなった❤」
快感がこみ上げる。
「興奮しちゃったの?可愛いね…❤
「ここならどれだけ汚しても大丈夫だから」
泡と汗とお湯と我慢汁でぐちゃぐちゃにいなった
ちんぽを容赦なくせめたてる。
「いっぱい興奮して…❤泡々おっぱいの
あったか谷間にたくさん射精して…❤」
たぷ♡たぷ♡
すちゃすちゃ

俺は千雪の乳房の中で勢いよく射精した。
「あったかい…❤」
谷間から白い白濁したものが泡に混じって
ドクドク溢れだす。
「すごいね…いっぱい出していいからね…」
射精は止まらない。
「千雪のぽかぽか泡おっぱいで
気持ちよく出してね…❤」
ビュルッ❤
ビュルルッ❤
ビュルルルッ❤
あ
千雪
あ
あ

「いっぱい出たね…そんなに気持ちよかった？」
お風呂場で何も気にせずにする射精はただただ快感だった。
「まだ出てる…❤」
谷間の中でちんぽがびくびく痙攣していた。
千雪にも興奮が伝染したのだろうか。
鏡の中で股から愛液をたらしていた。
ぺと
はあ
はあ
はあ
はあ

千雪がソファで寝ていた。
すやすやと愛らしい寝息をたてている。
その寝顔を見て…欲情した。
すぅ
すぅ…
服を脱がすと白く大きな乳房が姿を表す。
ぷっくりとした乳首が悩ましそうに揺れている。
「大きい…」
ごくりとつばを飲み込む。
俺は屹立した肉棒を差し込んだ。
「んっ…」
あたたかく少し汗ばんでる。
「やわらかっ…」
ふぅ
ふぅ

我慢できず、腰を振る。
「千雪…気持ちいいよ…」
腰を打ち付けるたび、おっぱいがぷるぷると揺れ動き、ももの付け根に乳房が当たりやわらかい感触がする。
「千雪のおっぱいやわらかいよ…」
気持ちいい。
「千雪…大好きだ…」
快感を求めて肉棒をさらに早く動かす。
ん…
すりっ
すりっ
すりっ
すりっ
たぷっ
たぷっ
たぷっ
ぬちっ
ぬちっ
ぬちっ
ふーっ
ふーっ
ふーっ
ふー

「もう…恥ずかしいですよ…」
千雪を起こしてしまった。
「起きてたの…！」
「いいよ…出して…❤」
「でもいっぱい好きって言って…❤」
もう止められなかった。
千雪の胸にはさんだ肉棒は快感を蓄え、
絶頂に上り詰める。
「出して…❤」
ぶるっ
ぶるん
ぶるっ
ぶるっ
じゃぽ❤
じゃぽっ❤
ゾクッ
ゾクッ
ゾクッ
はあ
はあ
はあ
はあ
はあ
はあ
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ

「千雪…好きだ…！」
愛の言葉とともに精液を吐き出す。
「好きだ…！好きだよ…！」
熱い精液が千雪にかかる。
「もっと…❤」
千雪のきれいな顔が俺の精子で汚れていく。
「もっとください…❤」
「好きだ…！好きだ…！」
俺は狂ったように射精した。
千雪に精子をいっぱいかけてあげたかった。
精液で彩られた千雪は恍惚としていて
うるんだ瞳が俺をじっと見つめていた。
びゅっ
びゅっ
びゅっ
びゅっ
ビュー
ラン
はあ、

「千雪…パイズリして…」
「はい❤こっち来て…❤」
千雪の大きなおっぱいに
硬くなった肉棒が包まれる。
やわらかい…っ
「プロデューサーさんは本当に
おっぱい大好きですね❤」
「うん…」
そう言葉にされると恥ずかしい。
「ふふ❤赤ちゃんみたいですね…❤
よしよし❤私のおっぱいで
いっぱいお世話してあげますね❤」
むーーちっ♡
ゾゾ
ゾゾ

「どう？おっぱい気持ちいい？」
千雪が大きな乳房で肉棒をしごいてくれる。
むちむちの谷間はちんぽにぴったり吸着し、
すべすべでやわらかく…心地がいい。
「気持ちいいよ…
もっと…もっと激しくして…！」
むちむちの摩擦が強くなる。
快感が駆け巡る。
「出していいですよ…❤」
一層パイズリが激しくなる。
目の前で巨乳がぶるぶると揺れる。
熱いものが先端へとのぼってくる。
「出して…❤」千雪が甘くささやく。
「出して❤
むちむちおっぱいの中で出して❤
むらむら精子いっぱい射精して
もっと気持ちよくなろ❤」
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
ズリ～
ズリ～
ズリ～
ズリ～
はー～
はー～

「ああっ…！」
俺は千雪のおっぱいの中で射精した。
「すごいよ❤出てる❤出てる❤」
その間もパイズリを続けてくれる。
ぴゅう
鉄のように硬く熱くなった肉棒は
精液を吐き出し続ける。
「カチカチのおちんぽからあつ～い
ねばねば精子❤びゅるびゅる出してね❤」
「射精している間もしっかり
シゴいてあげるから❤
やわらかおっぱいまんこの中で
たくさんたくさん精子出してね❤」
どぴゅ

「いっぱい出たね…❤すごいね…❤」
俺は千雪のおっぱいの間で果てた。
「よかった…？」
「うん…」
「そう❤」
俺から精液をしぼりとった千雪は
満足そうにうっとりしていた。

「今日は一日パイズリして
もらってありがとう…」
「ふふ❤いっぱいお世話できて
嬉しかったですよ❤」
射精の余韻の快感とともに疲労が襲い…眠い。
「おつかれさま❤今日はいっぱい射精したね❤
これで今日はぐっすり眠れるね…❤おやすみ❤」

2023年はゲームが豊作な一年でした。
リメイク版マリオRPGはキャラクタがみんな
イキイキとして楽しかったですね！
ピーチ姫がとても可愛くなってて、ずっとスタメンでした。
（消費MP４でベホマズン、２でザオリクは強すぎィ！）

さて、この本をとっていただきありがとうございました。
ゆまはパイズリが好きでな…千雪のでっかいおっぱいに
はさまれたいと思って作りました。楽しんでいただけたら
幸いです。ではまた！よいお年を！

ゆま

発行者	ダークネスゆま	発行日	2023.12.31	X	@yuma696
発行元	デンパツーシン	印刷	(有)金沢印刷	pixiv	1823775
				mail	yuma7283@gmail.com

デンパツーシン